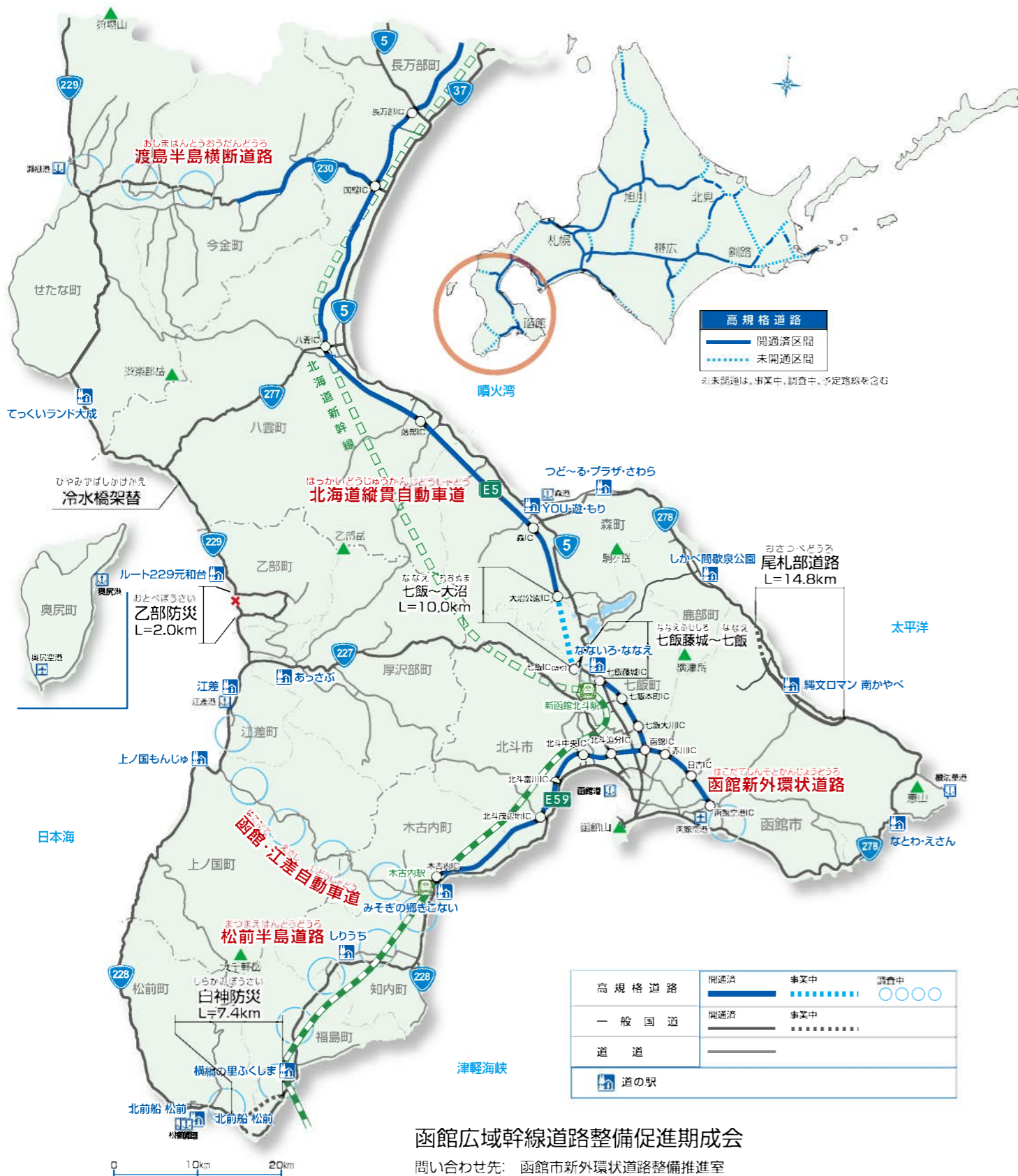


高規格道路の整備により、快適な走行性の確保と地域経済の向上、良好な沿道環境を提供します。

北海道が広大な大地の利を生かし、食や安らぎを提供できる地域としての役割を果たすとともに、救急医療や災害時の代替ルートの確保など住民の安全で安心な暮らしをすすめるためには、高規格道路の早期開通が最重要課題であります。

特に、道南地域において、北海道の「強み」である第一次産業（農業・漁業）や観光業をまもるためには、物流や交通の拠点となる空港・港湾といった重要な施設を有し、医療や福祉・介護・教育・商業・娯楽などの高次な都市機能が集中している函館市を中心とした、高規格道路の整備が必要であり、地域の自治体を中心となって期成会を組織し活動を行っております。



函館新外環状道路

函館空港IC～古川間



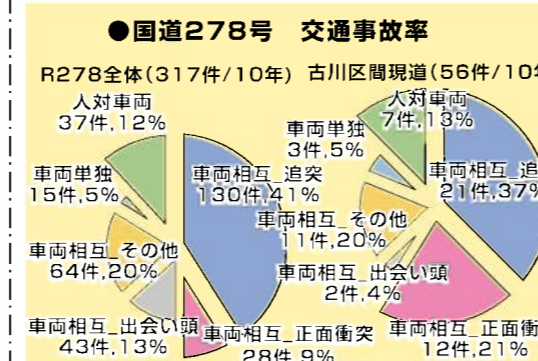
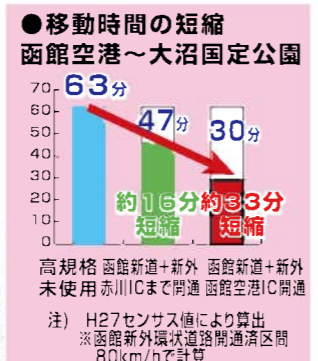
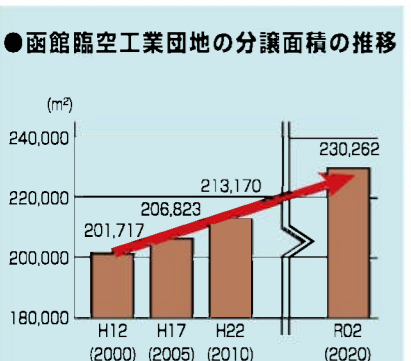
函館新外環状道路 函館空港IC～古川間の整備に向けた調査促進と 赤川IC～函館空港IC間の4車線化

函館新外環状道路は、北海道縦貫自動車道や函館・江差自動車道等と一体となって函館空港や函館港さらには北海道新幹線新函館北斗駅など広域交通拠点を連結し、函館都市圏における交通ネットワークの外郭環状を形成する都市計画道路として位置づけられています。**遊・もり**

令和3年、赤川IC～函館空港IC間の一部開通により、都市間道路網の容量増大に伴う都市内の交通混雑の解消や精密機器製品の流通に関する利便性向上、さらには交通事故の低減や通学児童の安全性の向上など、既に発現されている整備効果に加え、函館空港IC～古川間の整備により函館東部地域への速達性や定時性の向上によるアクセスの改善につながり、食の産業化、広域周遊観光の活性化、救急搬送の迅速化・安定走行、災害時の物資輸送機能の確保などに、生活基盤も含めた地域の安全安心な暮らしの確保に向けてますます重要性が高まっています。



函館都市圏へのスムーズなアクセスの確保



救急医療活動の支援

函館新外環状道路函館空港IC～古川間の整備により、函館都市部に集積する高度医療施設への緊急搬送の迅速性はもとより搬送中の振動や揺れが改善され、患者さんの負担を軽減して容体の安定に寄与します。



“おいしい食材の獲れるまち” 函館の農水産業の振興に寄与

基幹産業である漁業を中心に、函館新外環状道路を活用した持続可能な地域づくりに向け、加工業・観光業と連携し、農水産品のブランド化と食の魅力度の向上など、多彩な「食の産業化」に取り組んでいきます。



● 北海道の主要漁業生産地の生産量 (令和3年) (単位:万トン)

順位	市町村名	漁業生産量
1	釧路市	20.4
2	紋別市	7.4
3	広尾町	7.0
4	稚内市	6.6
5	函館市	5.8

● 北海道の主要漁業生産地の生産額 (令和3年) (単位:億円)

順位	市町村名	漁業生産額
1	根室市	187.1
2	稚内市	162.5
3	枝幸町	152.6
8	函館市	114.8

出典:令和3年北海道水産現勢より



緊急輸送道路としての機能の確保

函館新外環状道路函館空港IC～古川間の整備により、災害発生時には救援物資や医療関係者を円滑かつ迅速に輸送できる道路ネットワークとして機能します。



いにしえより親しまれてきた景勝地 函館東部地域の観光活動を支援